

切り取ってご利用ください

展覧会 「美術を見る^{たの}愉しみ」

美術館は、平成19年度に開催した「出会いの美術展」以降、美術鑑賞教育をテーマに、来館者が絵画を鑑賞する楽しさを実感し、自らの嗜好にあった作品と出会う機会の提供を目的とした展覧会を継続して開催しています。

現在、開催中の展覧会「美術を見る愉しみ」もその一つです。当館の所蔵する作品の中から、幾人もの作家による、多様な技法を用いた表現を選び出し、一堂にご紹介しています。さまざまな作品の中から、ぜひ、自分の興味や関心の向く作品との出会いをお楽しみください。そして、このような展覧会をきっかけに、それぞれの美術の楽しみ方を見つけてもらえることを願っています。

会 期：4月6日(日)まで

休 館 日：毎週月曜日(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料

※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



小杉未醒「騎馬」
小杉放菴記念日光美術館蔵

実はおれ、「出会いの美術」展で、はじめて美術館に出現したんだ。



ジンジャくん

教えて！日光彩子ちゃん ～市税ってなあに？～

このコーナーでは、市のキャラクターの日光彩子ちゃんが市税についてシリーズでお知らせしています。先月号は軽自動車税や入湯税、市たばこ税についてご紹介しました。今月号は、国民健康保険税についてご紹介します。



連載特集第5回(全6回)

Q: 国民健康保険税って何？
日光彩子(以下、彩子ちゃん): 国民健康保険は、病气やけがをした時に経済的な負担を軽くし、安心して治療を受けられるよう、助け合う制度なのよ。国民健康保険医療制度は、加入者の皆さんからの保険料によって運営しているの。

Q: 世帯主に課税されるのはなぜ？
彩子ちゃん: 国民健康保険は、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢の方までが被保険者となるため、世帯主課税主義をとっているの。住民票上の世帯主が国民健康保険に加入していない場合でも、その世帯の中に国民健康保険加入者がいれば世帯主が納税義務者になるわ。

Q: 無収入の申告をしたのに国民健康保険税がかかるのはなぜ？
彩子ちゃん: 国民健康保険税は、被保険者の所得などに応じて決まる部分(応能部分)と、加入している人数などに応じて決まる部分(応益部分)があり、所得などのない方についても応益部分の均等割額、平等割額が課税されるのよ。

世帯全体で、所得のない方や一定以下の方には保険税の軽減措置があるの。その場合でも課税額がゼロになることはないのよ。

Q: 国民健康保険税にはどのような納付方法があるの？
彩子ちゃん: 1年度分(4月から翌年3月まで)の保険料を7月末から翌年の2月末にかけて、8回(期)に分けて納付してもらおうの。7月に納税通知書で8回(期)分の納付額をお知らせするわ。

納付の方法には、金融機関やコンビニエンスストアなどで納付する納付書払いと指定の金融機関口座から自動で引き落とす口座振替があるのよ。また、一定の条件に該当する方は、特別徴収(年金天引)の方法で納付することになるの。特別徴収となる世帯には、徴収する前にあらかじめ案内するわ。

Q: 年度の途中で加入、脱退した場合、国民健康保険税はどのようになるの？
彩子ちゃん: 月割で税額を計算するのよ。年度の途中で加入する場合は、加入した月から次の3月までの保険税を月割で計算し、手続きをした月の翌月から課税になるのよ。

脱退する場合は、加入した月から脱退した月の前月分までを月割で計算するの。年度途中で脱退した場合には、国民健康保険資格喪失後も納期の関係で保険税の納付が残る場合もあるの。

Q: 国民健康保険税を納め過ぎた時は？
彩子ちゃん: 納め過ぎが発生した時には還付金支払通知書で案内するので、還付金の払い戻し手続きをお願いね。

Q: 国民健康保険税の納付が困難になった場合は？
彩子ちゃん: 病气や経済的理由、急激な課税増額など保険税の納付が困難な場合には、収税課で相談を受けているの。納期限どりの納付が困難な場合には、未納解消のための計画的納付などの相談に応じるわ。

Q: 会社都合で退職した場合の国民健康保険税の軽減は？
彩子ちゃん: 平成22年4月から、倒産や解雇など会社都合により離職された方で、一定の条件に該当する場合は、国民健康保険税が軽減されるの。該当する方は保険年金課で手続きをしてね。

市税って色んな種類があるのよ。次回もお楽しみに♪



この連載についてくわしくは
税務課 市民税係 ☎(21)5113

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎(22)6217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料) 休館日 月曜日、祝日



◆企画展紹介④「会津西街道の旧道をたづね」(2013)

●五十里から山王峠まで

今ご紹介する道筋は、江戸時代、三依郷6力村(横川村、上三依村、中三依村、独鈷沢村、芹沢村、五十里村)の南山蔵入領として、幕府または会津藩の支配を受けていた地域です。

高原新田宿から峠道を下ると五十里地内に入ります。地元の人々が「帯締岩」、「鍋掛石」と呼ぶ大きな石の目印を過ぎて、よつやく国道121号に下りた旧道は、現在の五十里湖底を進みます。

唄の沢橋から大塩沢橋の対岸にかつての五十里宿がありました。

旧道は五十里湖上流の地蔵岩(仏堂)近くから現れ、蛇行する男鹿川沿いの国道を進んでいきます。古くは下三依と呼ばれ、地名の由来となった独鈷清水のある独鈷沢地内を過ぎ、左手の芹沢地内へ向かう分岐を過ぎると三依郷の中心地である中三依宿です。

次に見えてくる大面集落からが上三依地内です。

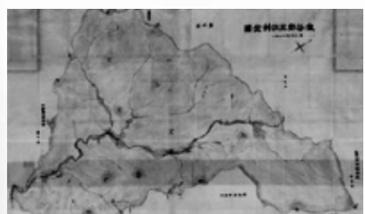
旧道は上三依水生植物園辺りで右にそって川の対岸に移ります。植物園前から始まる旧道には道祖神や一里塚が残り、当時の面影を残しています。

旧道は再び国道に合流し、上三依集落を過ぎて、左手に民家が見えてくると横川地内です。

横川関所跡の右手に下野国側最後の宿である横川宿があります。旧道は宿を経由して再び国道方面へ戻り、左手の山道を進んで国越えの難所である山王峠(約935m)に向かいます。

峠付近は、つづら折りの難路が続いています。

◆企画展開催期間
3月30日(日)まで



三依村全図(市所蔵)